



本校のホームページを開いていただくと、目に飛び込んでくるのは、「新型コロナウイルスについての学校の対応」です。“向かい合って食べない”“距離をとって運動する”等々、まだまだ、本来の形には戻せないところもたくさんあります。「自分を守る」「みんなを守る」を充分意識して学校生活を送らなければなりません。

さて、遅くなりましたが、今年度も、本誌で学校の様子をお伝えしていきたいと思えます。

令和2年度 入学式



4月9日(木)に二学部(通学生)の入学式を行いました。新型コロナウイルス感染症の対応として在校生の出席を断念し、入学生と教職員といった中で行いました。久しぶりの学校であったり、初めての場所、友達であったりと、緊張した面持ちで臨みました。一学部(病棟入院生)は6月2日(火)に行いました。植野校長の笑顔に思わず笑顔を返してくれる生徒や初めての人に少し緊張した表情を見せてくれた生徒もいました。中学部に6名、高等部に14名の入学者を迎え、今年度のみはま支援学校は、小学部5名、中学部15名、高等部34名の合計54名となっています。



令和2年度 着任式・始業式

6月1日(月)に、一学部は病棟内での始業式をしました。二学部は体育館で、着任式・始業式を行いました。

今年度は、10名の先生方が新しく赴任しました。新任者代表挨拶では、「児童生徒のみなさん、学校のことをいっぱい教えてください。そして、いっぱい『ありがとう』を伝えさせてください」と伝えられました。

始業式では新しい担任の紹介と、植野校長からは、「みなさんとは、出会うべきして出会った。単なる偶然ではありません。この出会えたご縁のもと、新しい学年で、新しい先生方と気持ちも新たに、共感と達成感を大切に、学習や学校生活に取り組んでほしいと思っています」と、伝えられました。